

## 教育研究所情報発信誌

KEYAKI

下野市 教育研究所

## 「早寝・早起き・しっかり朝ご飯」で、健康管理を!

夏休みに入ってから異常といわれる暑さが続き、8月は「猛暑」「熱中症」「酷暑」という言葉を耳にしない日はありませんでした。先生方におかれましては、市陸上記録会の延期や夏休み中のプール開放等について御対応いただきありがとうございました。また、児童生徒の学習支援や個人面談、部活動指導、各種研修会への参加等でお忙しい毎日を過ごされたことと思います。9月もまだまだ暑い日が続くようですので、健康にはくれぐれも御留意ください。

さて、夏休みが終わり、登校してきた子どもたちの様子はいかがでしょう。長期休業明けは学校生活に適應できない児童生徒が増加する傾向にあります。子どもたち一人一人に声をかけ、目と心を配っていただき、ちょっとした変化の早期発見、早期対応をお願いします。また、御家庭と十分に連携を図りながら、子どもたちが充実した学校生活を送れるよう御指導ください。

## 初任者研修

「通常の学級における特別支援教育について」の講話・研究協議では、ユニバーサル

デザインの視点から授業や子どもたちとの関わり

について熱心な協議が行われました。午後のふるさと現地学習では、史跡巡りを通して、下野市の歴史の深さを実感することができました。



## 理科実技研修

石橋北小学校を会場に、9名の先生方と理科実験の基礎研修を行いました。

とちぎっ子学習状況調査では、実験に関する問題も出されており、参加された先生からは、「子どもたちが積極的に実験に取り組めるよう、授業を工夫したい」「実験の楽しさを実感させたい」などの感想をいただきました。



## 図工実技研修

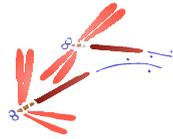
下都賀教育事務所の松下真由美指導主事を講師にお迎えし、国分寺西小学校を会場に30名以上の先生方に参加していただきました。赤・青・黄色の3色からいろいろな色をつくる楽しさと、画用紙に順番に色を付けていくことによる色の変化を実感することができました。

また、デッサンでは1本の線でゆっくり描いていくとよいことを教えていただき、実際に花を見ながら熱心に描いている先生方の姿が印象的でした。



上記の他にもICT活用研修や英語研修、2・3年目研修等、市教育研究所主催の研修を行いました。多くの先生方に御参加いただきありがとうございました。

# 【9月の予定】



※9月1日現在の予定です。詳細は文書で御確認ください。

※時間のみ記載の研修会の場所は、市役所になります。

※市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 市民体育祭 キンボール 大会	3 小学校授業再開 中学校授業再開	4 市教頭会 14:00~	5 小中一貫の日 (南河内中学校区)	6 就学支援委員会① 14:00~	7 市養護部会 14:00~	8 国分寺中体育祭
9	10 国小新探訪問	11 石小新探訪問 S&U 南河二中	12 吉西小新探訪問 古山小要請訪問 南河中要請訪問 S&U 国分寺小 小中一貫の日 (南河内第二中学校区)	13 祇園小新探訪問	14 国東小新探訪問	15 小中学校音楽祭
16	17 敬老の日	18 栄養教諭・学校栄養 職員研修会 9:00~ 主幹教諭・教務主任 研修会 14:00~ S&U 石中	19 S&U 南河二中	20 下地区中教研B部会 14:00~ 各会場	21 教育委員会訪問 (南河二中) 市議会閉会 県立特別支援学校後 頭部入試説明 (総教センター) 10:00~	22 薬師寺小運動会 吉田東小運動会 吉田西小運動会 国分寺西小運動会
23 秋分の日	24 振替休日	25 国中新探訪問 ゆうがお Cafe 17:30~ 下野市小中一貫教育 推進協議会 14:00~	26 市定例校長会 9:00~ S&U 国東小	27 南河二中新探訪問 下地区学校音楽発表 会(小学校) 定例教育委員会	28 下地区中学校新人 大会	29 下地区中学校新人 大会
30 下地区中 学校 新人 大会						

## 御紹介

### ある中学校の校長室に掲げられていたもの・・・山崎浩二先生より(平成24年)



教室は、間違ふところです。  
正しい答えを言うところではありません。  
正しい答えが学ぶ前からわかっていたら、  
何も学校に来る必要はありません。  
学校では、毎時間  
新しいことを学びます。  
生まれて初めて出会った中身が  
わかるはずはありません。  
間違つて当たり前です。



学校では、難しいことを学びます。  
一人でわかるはずがありません。  
だから、みんなが集まり、  
知恵を出し合い、  
もっとよい考えはないかと探し、  
学び合わなければなりません。  
大事なことは、  
私はこう考えると  
自分の考えをもつことです。

